

古河労働基準監督署長が安全パトロールを実施！ ～横になって涼める休憩室を視察～

令和8年7月3日（金）



新築した休憩室の説明を受ける署長（右側）

古河労働基準監督署（署長 高橋晴夫）は、令和8年7月3日（金）、全国安全週間（7月1日～7月7日）を実効あるものとするため、当署管内の食品包装用フィルムを製造する「アールエム東セロ株式会社古河工場丘里サイト」において安全パトロールを実施しました。

全国安全週間は、「人命尊重」という基本理念の下、一度の中断もなく続けられ、本年度で99回目を迎えます。

平成31年以降、当署管内（古河市、境町、五霞町）においては、4日以上の日を休業を余儀なくされた熱中症災害が14件発生しており、うち1名が死亡しています（令和元年7月発症）。今夏も猛暑が予想されており、作業中断や水分摂取の徹底が求められるところです。

アールエム東セロ株式会社古河工場丘里サイトでは、作業者が横になって心身を休めながら涼める休憩室を新築していたほか、作業場所のすぐ近くに空調設備付きの避暑室を設ける、WBGT計を増設する、空調服を貸与するなど、労働者が安心して働ける快適職場の実現に向けて、積極的に熱中症対策に取り組んでいました。

皆様の事業場におかれましても、熱中症災害を含む労働災害の防止に向けた自主的な活動をお願いいたします。

パトロールにご協力いただいたアールエム東セロ株式会社古河工場丘里サイトの皆様、誠にありがとうございました。

【担当部署】古河労働基準監督署 監督・安衛課 TEL:0280-32-3232